あさひ環境通信 vol. 8

7月号 発行日:平成27年7月10日

巻行:朝日メインテナンス工業㈱ 統合本部 バリュー推進き

朝日・バイオケアシステム®

鎌倉市が管理する公衆トイレでデモンストレーションを実施!!

現在、営業展開している「朝日・バイオケアシステム」に新たな動きがありました。鎌倉市環境 部環境保全課より依頼があり、6月29日に鎌倉市が管理する円覚寺公衆トイレにてバイオケアシス テム導入のデモンストレーションを実施しました。環境保全課担当者様立会いのもと関東エリア事 務所のスタッフが導入前トイレリフレッシュ清掃とバイオ資材の設置を実施しました。

今後、環境保全課担当者様とデモンストレーション後のバイオケアシステムの検証・評価をし、 鎌倉市内公衆トイレ32箇所のバイオケアシステム導入にむけての提案営業をすすめていきます。



鎌倉五山の名刹、円覚寺はJR北鎌倉駅の目の前にあり、国宝です。文豪夏目漱石や島崎藤村も参禅しました。 境内は広く、新緑・紅葉スポットです。 6・7月は、紫陽花がオススメです。



円覚寺駐車場横トイレにてリフレッシュ清掃と バイオ資材の取付けセットアップの示モを実施 しました。

極楽寺駅公衆トイレにもバイオケアシステム導入予定!! 昔懐かしい木造駅舎が特徴的な小さな駅で映画やドラマの舞台にもたびたび登場して有名な「江/電」の「極楽寺駅」の公衆トイレも鎌倉市の環境保全課が管理しております。



鎌倉市環境保全課担当者様と清掃担当者の方々も 立会いされ、バイオケアシステムの内容説明を し ました。



朝日・ニュースリリース

第45期朝日安全衛生大会 開催!!

去る5月22日(金)名古屋駅キャッスルプラザ鳳凰の間にて、お取引様33社39名様、現場常駐者68現場72名、スタッフ21名、総数132名と、中部・北陸・静岡・関東各エリア、ムラタグループより多数参加していただき、熱気あふれる満席の会場で盛大に開催されました。

第1部は、安全推進委員会より事故事例・事故報告に 始まり、実践活動として「異常気象から命(いのち)を守る 危機管理体制」、集中豪雨を事例に挙げ災害時の対応、 危機管理についてパワーポイントや映像で分かりやすく説 明がありました。

また、第2部の安全講話では、日本カーペットクリーナーズ アカデミー(JCCA)認定インストラクター(FCT)吉廣幸夫様を 招き、「新時代をひらく脱剥離と多能性~朝日メインテナンス 工業・作業者の安全向上と職能向上ミッション~」と題して、 清掃管理業務の新しい取り組みについて非常に興味深いお



山下本部長の開会の挨拶



話がありました。吉廣様のわかりやすい講話はたいへん好評でした。第 3 部の「環境配慮型清掃システム」 実践報告では、「バイオケアシステム®」の取組みについて、今までの歩み、そしてバイオケアシステムの 新規導入物件の紹介などの発表がありました。

来期の朝日安全衛生大会は、大会の形態を変えて、さらに内容を充実させて開催致します。是非ともご期待ください。

弊社ホームページリニューアルについて

このたび、当社のホームページを7月15日より、新しく大幅にリニューアルすることになりました。私たちの活動を皆さんに知っていただくこの媒体は、この十数年の間、多少の変更はしてまいりましたが、ほとんど開設当時のままでした。弊社は今年の8月21日より第46期になります。私どももこの間にいろいろな活動をしてまいりました。業界に先駆けたアルカリイオン水による清掃、「AN21システム」で環境配慮型清掃をいち早く取り入れ、2000年にはISO9001、14000を認証取得してまいりました。そして今年、商標登録を取得した「バイオケアシステム®」は朝日の新たな取り組みです。

弊社の今までの活動の歴史、清掃システム、業務内容など、この新しいホームページにより、更なるコンテンツの充実と価値ある情報の提供に努めてまいりますので、ひきつづき弊社をご愛顧を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

ホームページアドレス http://www.asahi-mtn.co.jp/



平成 27 年 7 月吉日 統合本部 林和昭

業務部だより

新店舗アピタ岩倉店(仮称)を受注しました!!

~ピアゴ岩倉店が規模を拡大し"アピタ店舗"にリニューアル! 今冬オープン! ~

ピアゴ岩倉店は、1979 年から 2014 年までの35年間営業し、当社も35年間清掃・設備業務を管理してまいりました。お店は、岩倉市の中心駅である名鉄岩倉駅に隣接し、アクセスも良く、鉄道、車での広域集客が見込まれる好立地な場所にあります。ピアゴ岩倉店は、地域のお客様のニーズに応えるべく規模を拡大して、"アピタ店舗"に変更して、「アピタ岩倉店(仮称)」として出店となりました。 営業面積約17,000 ㎡、地上 3 階建て(3 階、屋上駐車場)となり、旧店舗と比べて約1.8 倍の売場面積のショッピングセンターに生まれ変わります。当社は、この新店の清掃管理業務と設備管理業務を受注しました。しっかりと業務立ち上げの準備をして「みんなの力で」成功させましょう。





新規受注店舗・ピアゴ守山店オープン!!

ピアゴ守山店(旧ユニー守山店)(名古屋市守山区東山町)は 2015年7月中旬にリニューアルオープンしました。地上3階建 てで、管理面積約3800㎡、1Fは食品売場、2F衣料売場、3F 専門店のの中型総合スーパー(ミニGMS)です。

7月初めから清掃作業のトレーニングを受けていた日常清掃スタッフも準備万端で仕事に望みます。オープン前後の清掃業務立上げ対応は、各エリア事務所スタッフの応援協力ももらい、スタッフー丸となって、「朝日さんにやってもらってよかった」といわれるように頑張りましょう。



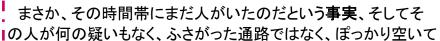
ピアゴ守山店に続き、アピタ岩倉店(仮称)も受注できたことは、当社にとって大変喜ばしいことです。 これも設備、清掃、その他すべてに係るスタッフ1人1人のおかげです。どうもありがとうございます。 今後、アピタ岩倉店(仮称)は、基礎清掃・引き渡し清掃と入っていきますが、お客様が気持ちよく買 物をしていただけるような環境を作っていきたいと思います。皆さんのご協力をいただき、素敵なお 店をオープンさせましょう!

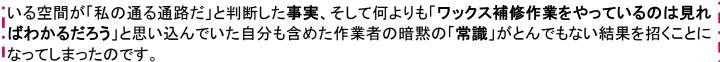
(業務部 三浦健司)

あさひ環境通信・コラム

自分の常識は他人の非常識

を間の定期作業に入ったときのことです。閉店後、什器や商品を通路側へ持ち出し、売場のワックス補修にとりかかってから約1時間、いよいよ1層目のワックスを塗り終えたそのときです。奥の方にあるテナントゾーンからばたばたと駆ける人の足音がしているな・・・と思った次の瞬間、信じられない光景が眼に飛び込んできました。何とワックスを塗り終えたところにその足音の人が駆け足のまま侵入してきたのです。その後どうなったか、改めて・めて言うまでもありません。





「そんなことぐらい判ってくれているだろう」と思いたいのが人情というものですが、起きた出来事の事実 L ・はそうした甘い判断を覆すものでした。他人の「常識」は私たちにとっての「非常識」であると同時に、自分 の「常識」は他人の「非常識」なのです。

す会にまつわるお話はこのくらいにして、「常識」「非常識」をめぐる話題をもうひとつ。

安全大会において、ダイヤモンドパッドによる樹脂床材や樹脂ワックスの管理手法についてご紹介したのですが、実はこの話の起点はアピタ小牧店における「非常識」(本当は「失敗」)作業にあったのです。その夜、朝日さんの要望にしたがって、資機材メーカーさんが食品売場のテラゾー磨きに来店し、バフ機材で何とか光沢が上がらないかと悪戦苦闘をしていました。残念なことに一向に光沢は上がらず「これは失敗だった」とあきらめるとプッツンと緊張の糸が切れ、その拍子、乗ってはいけないPタイル床面にはみ出してしまったのです。

「**あ~あ・・・、やってしまった。きっと大きな傷になったに違いない**」と、後悔の念にさいなまれながら、おしてるおそる覗いてみると・・・何と!今までに見たこともない光沢ではありませんか・・・だったと言うのです。 この出来事の教訓は(たまたま新しい発見があったのはラッキーですが)**何かにチャレンジする姿勢**があまってはじめて起きた出来事だった、という点にあるように思われます。

決められたことを決められたようにやり続ける、これは清掃の現場ではきわめて大事なことです。しかし、

一方で「常識」だと思い込んでいることがらに対してちょっと**見方、考え方を変えてみる**ことも必要です。「常識でしょ」と片付けていることを一度疑ってみてください。本物の「事故」はあってはならないのですが、物事を変えようとすると、へンな言い方ですが、「事故」はつきものです。最初から上手くいくことはまずありません。でも「事故」の向こう側に、**新しい発見**があるかも知れません。 し、発見できたらラッキーです。

さて、ワックスの上で転倒した駆け足のテナント店長さんは「慌てていて、状況判断ができなかったのは私の責任」と言い張って痛い腰をさすりながら退店して行かれました。翌朝、お見舞いの菓子折りを笑って納めていただいたのはラッキーでした。

【編集後記】

年内はコンスタントに新規物件を受注できました。バイオについては広範囲に新たな動きが始まっています。各エリア事務所の皆さんの日々の地道な活動のおかげだと思います。(W)

